

A 係助詞と結びを見つける

練習の答えと根拠

問1 ぞと連体形

答え 係助詞：ぞ 活用形：連体形

解説 「ぞ」に対応して「あり」が連体形「ある」になる。

問2 こそと已然形

答え 結び：寒けれ 活用形：已然形

解説 「こそ」に対応して「寒し」が已然形「寒けれ」になる。

問3 なむと連体形

答え 係助詞：なむ 結び：高き

解説 「なむ」に対応する結びは連体形。形容詞「高し」が「高き」となる。

問4 やと連体形

答え ウ

解説 疑問を表す係助詞「や」に対応する連体形。

A 係助詞と結びを見つける

練習の答えと根拠

問5 疑問語と係助詞

答え か

解説 「いずれ」はどれ、という疑問語。係助詞はその後の「か」。

問6 基本対応

答え ア

解説 この単元の基本対応。「こそ」だけが已然形。

問7 文末を整える

答え エ

解説 「ぞ」に対応する連体形を資料表から選ぶ。

問8 形が同じ場合

答え イ

解説 「咲く」は終止形と連体形が同じ表面形。見た目の変化だけで判断しない。

B 係助詞に合わせて整える

練習の答えと根拠

問1 ぞに合わせる

答え 高き

解説 「ぞ」の結びは連体形なので「高き」。

問2 こそに合わせる

答え 寒けれ

解説 「こそ」の結びは已然形なので「寒けれ」。

問3 なむに合わせる

答え ある

解説 「なむ」に対応して「あり」の連体形「ある」を用いる。

問4 けりの結び

答え けれ

解説 「こそ」があるので、文末の「けり」が已然形「けれ」になる。

B 係助詞に合わせて整える

練習の答えと根拠

問5 結びとなる部分

答え ける

解説 結びの活用形は文末の「けり」の部分で判断する。「住み」の部分ではない。

確認 意味と根拠を確かめる。

問6 かに合わせる

答え 高き

解説 係助詞「か」に対応する連体形。疑問語「いづれ」だけから判断しない。

問7 已然形と意味

答え ウ

解説 已然形と命令形が同じ形の語もある。ここでは「こそ」の結びで、与えられた意味も命令ではない。

問8 同形でも働きを読む

解答例 後の文には係助詞「ぞ」があり、「咲く」は終止形と同じ形の連体形として結んでいるから。（42字）

解説 表面形だけでなく、係助詞と文末の文法上の対応を見る。

別解・許容 同じ内容が伝わる表現を認める。

確認 「ぞ」の存在、「咲く」が連体形であること、終止形と同形であることを確認する。

C 会話の中で確かめる

練習の答えと根拠

問1 会話内の結び

答え 係助詞：や 結び：ある

解説 会話文の中で「や」と「ある」が対応する。会話の外の「問ふ」を結びにしない。

問2 係助詞の働き

答え エ

解説 寺があるか尋ねる言葉と、場所を示して強める答えを区別する。

問3 連体形の確認

答え 連体形

解説 「なむ」に対応する。後ろに名詞がなくても、係り結びで文が終わることがある。

問4 同じ形の連体形

答え 結び：咲く 活用形：連体形

解説 終止形と連体形は同じ形だが、「ぞ」の結びは連体形。

C 会話の中で確かめる

練習の答えと根拠

問5 こその結び

答え 寒けれ

解説 「こそ」に対応する。「寒けれ」は「寒し」の已然形。

問6 疑問の現代語訳

解答例 この村に寺はありますか。

解説 「里」を村と読み、寺の存在を本当に尋ねる表現にする。

別解・許容 「この村にはお寺があるのですか。」など。

問7 係助詞を入れ替える

解答例 丘の上にこそあれ。

解説 係助詞だけを替えて「ある」を残すのではなく、結びを已然形「あれ」にする。

別解・許容 末尾の句点はあってもなくてもよい。

問8 連体形で文が終わる

解答例 「なむ」の係り結びでは、後ろに名詞がなくても、連体形の「ある」で文を終えることができる。(44字)

解説 連体形という名称だけで、すべての用法を名詞の修飾に限らない。

別解・許容 同じ内容が伝わる表現を認める。

確認 「なむ」との対応、連体形「ある」で文を終えられることを説明する。

D 係り結びの確認テスト

確認テスト 100点 採点基準付き

問1 基準となる終止形〔10点〕

答え エ

解説 ①には係助詞がなく、「けり」の終止形で文が終わっている。

採点 正答で全点。

問2 係りと結びの組〔15点〕

答え 係助詞：ぞ 結び：ある 活用形：連体形

解説 「ぞ」による係り結び。「あり」が「ある」となる。

採点 「ぞ」「ある」「連体形」各5点。

問3 疑問語との区別〔10点〕

答え イ

解説 「いづれ」は疑問語。「か」が会話の中の「高き」と対応する係助詞。

採点 正答で全点。

問4 已然形の確認〔15点〕

答え 結び：高けれ 活用形：已然形

解説 「こそ」と「高けれ」が対応する。会話の外の「答ふ」ではない。

採点 「高けれ」8点。「已然形」7点。

D 係り結びの確認テスト

確認テスト 100点 採点基準付き

問5 見た目が変わらない結び〔10点〕

答え ア

解説 「咲く」は終止形と連体形が同形でも、係助詞との対応から連体形と判断する。

採点 正答で全点。

問6 けりの形を選ぶ〔10点〕

答え けれ

解説 「こそ」があるため已然形「けれ」。

採点 「けれ」で10点。

問7 誤りを直す〔10点〕

答え 正しい文末：降れ。理由：「こそ」の結びは已然形になるから。

解説 「降る」を、「こそ」に対応する已然形「降れ」に直す。

採点 「降れ」5点。「こそ」に対応する已然形という理由5点。

問8 見分け方を説明する〔20点〕

解答例 ②の「ある」は終止形と違うが、⑤の「咲く」は同じ形の連体形なので、文末の見た目だけでは判断できない。（50字）

解説 「あり／ある」と「咲く／咲く」の違いを対比する。

別解・許容 同じ内容が伝わる表現を認める。

採点 ②の「ある」が終止形「あり」と異なること6点。⑤の「咲く」は終止形と同形の連体形であること8点。見た目だけで判断できないという結論6点。字数外は合計から2点減点（0点未満にしない）。

見直しの目安

間違えた問いは、係助詞と結びの組・語の意味・本文の根拠を確かめ、もう一度説明してみましょう。